

平成25年度大学入試センター試験について

1 概要

- (1) 日時 平成25年1月19日(土)、20日(日)
- (2) 会場 県内5会場 福井大学 文京キャンパス、松岡キャンパス
福井県立大学 福井キャンパス、小浜キャンパス
福井工業大学
- (3) 受験者数 3,292名(県立 2,782名 私立 510名)
- (4) 自己採点結果について(河合塾発表)
主要科目の平均点では、数学ⅠA、国語が前年と比べて大幅に減少。理科、地歴、公民では、「物理Ⅰ」「日本史B」などの減少幅が大きいものの、他の科目の平均点はいずれも6割程度。
- (5) センター試験後の日程
- ・1月28日(月)～2月6日(水) 国公立大学個別試験出願
 - ・2月25日(月)～ 国公立大学前期試験
 - ・3月12日(火)～ 国公立大学後期試験
 - ・1月下旬～3月下旬 私立大学一般入試

2 問題の分析について

センター試験終了後に、教育委員会においても、各教科計28名の教員がすぐに問題を解いて、問題の難易度や出題内容等について、以下の分析を行った。また、各高校においても、教員が問題を解いて、自校の生徒に応じた指導のための分析を行っている。

各教科の分析結果

国語(80分 200点)

- ・全体的に問題文の分量が増加し、文章の難易度が上がった。
- ・現代文は、受験生になじみのない小林秀雄の文章や、牧野信一の小説が取り上げられるなど、読みにくい。

数学(60分 100点 2科目受験が基本)

- ・数学ⅠAは計算力を必要とする問題があり、全体的に難易度が上がった。
- ・各問題に図が与えられておらず、問題文から正確に図示できる力が必要

英語(80分 200点)

- ・使用語数は昨年度よりやや増加したが、題材と状況設定は理解しやすい。
- ・コミュニケーション能力と読解力を重視する傾向が継続

地歴、公民(60分 100点 文系2科目、理系1科目受験が基本)

- ・例年よりも、地図・図表・史料の問題が増加
- ・地域調査や民族問題に関する出題や、時事問題が増加

理科(60分 100点 文系1科目、理系2科目受験が基本)

- ・観察・実験を踏まえた問題や、実験データを分析し考察する問題が多く出題
- ・難易度は例年並みだが、新しい出題形式があった。